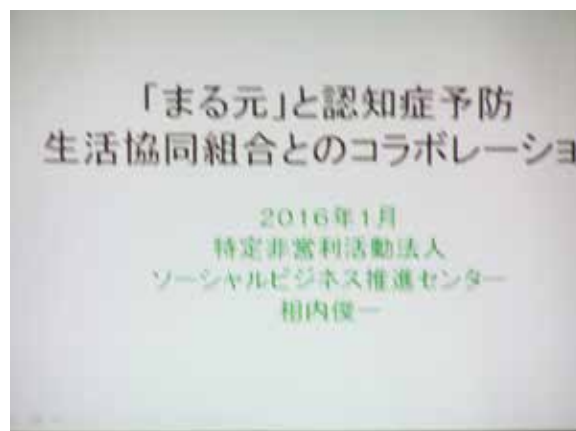


## 2015年度第4回理事会・学習会・新年会報告

1月21日、第4回道連理事会を岸本理事の議長で開催しました。議決事項は、①2016年度の業務委託契約の件（税務経理関係、法律関係、大学生協事業連合関係）②2016年度道連会費の件（昨年度同額）について③次回道連理事会日時について（5月12日13:30）について承認しました。審議事項は、①安保法制問題、「戦争法の廃止を求める2000万統一署名」の取り組みについて②TPP問題の取り組みについて③軽減税率問題について④ホームシェアハウスの取り組みについて⑤日本医療福祉連合会からの「簡易検査キット」「アミノインデックスがんリスクスクリーニング」取り組み提案について⑥2016年度年間スケジュールについて⑦2015年度活動のまとめと2016年度活動方針について確認しました。報告事項は、①一般活動経過報告②決算報告③上期監査報告④福祉問題を総合的に考える委員会報告⑤北海道地方消費者フォーラムの取り組み報告⑥LPガス問題の取り組み報告⑦奨学金署名の取り組み報告⑧三学校生協事業問題懇談会報告⑨北海道労福協、政策・制度要求の取り組み報告⑩友好団体他報告⑪北海道他報告⑫北海道・東北地連運営委員会報告⑬日生協北海道所支所報告

### （新春学習会開催報告）

理事会終了後、テーマ「ソーシャルビジネスの現状と生協への期待」で小樽商科大学特認教授の相内先生の学習会を49名の参加で開催しました。コープさっぽろ・北翔大学・まる元と連携し、11市町村で高齢者運動教室を取り組んでいます。新たに「認知症になりにくいまちづくり宣言」を行い、道内の全市町村長に認知症予防への関心を喚起した取り組みも始めています。大変有意義な学習会でした。



### （道連新年会）

学習会終了後、道連役員と友好団体による新年会を41名の出席で開催しました。麻田会長挨拶の後、労福協の工藤理事長、労金の佐藤専務の来賓挨拶をいただき、中島専務の乾杯の音頭で祝宴スタートさせました。友好団体、会員生協から18名の方にテーブルスピーチをいただきました。最後、山口専務の閉会の挨拶と一本締めで大変盛り上がった新年会でした。



# ホームシェアハウス問題の取り組み報告

～希望する学生が3割も！

「福祉問題を総合的に考える会」で取り組んでいます、ホームシェアハウスの取り組みについて報告致します。

まずは、ホームシェアハウスとはですが、前記の考える会では高齢者の空き部屋を学生が借り、高齢者と共同生活をする。取り組みの目的は高齢者の見守りと学生の生活費の軽減をはかる助け合いの活動と位置づけています。

次に、取り組みの経過ですが①昨年6月16日第2回福祉問題の総合化を考える委員会でNPO法人リブ&リブの石橋さんを招いて学習会を開催し、運営方法について学びました。②ホームシェアハウスのアンケート設計と分析を北星大学杉岡教授に依頼し、北大、北見工大、室蘭工大の学生220人と札幌市の高齢者（退職者連合会員、配食事業利用者）172名にニーズ調査を実施しました。③アンケート結果は、ホームシェアを希望する割合は学生30%、高齢者で12.8%と思った以上に学生の関心が高いものでした。アンケート集計の結果分析については、杉岡教授に報告書をお願いしており2月に報告書がまとまる予定でいます。④昨年

12月道新の門馬記者からホームシェアハウスの取材を受け、12月31日に大きく報道され、記事を読んだ北海道消費者協会からは、「とても有意義な取り組みだと思います」「全道12000人の会員に取り組みをお知らせして、受け皿のお部屋の提供者を募り、取り組みに協力したい」との感想が寄せられました。また江別在住の女性からは、部屋代はいらぬから自宅の空き部屋を提供したいとのご連絡もありました。

取組への評価は高く、教育費が増大する中で学生の要望はとても強く、「足長おじさんとして」空き部屋を提供しても良いとの高齢者も一定の数いるようです。

今後のホームシェアハウスの取り組みは、①毎年新入生3000人にアパート斡旋を行っている大学生協が、ホームシェアハウスのアンケート結果分析を元に具体的な実施計画を作成する（2月18日第6回福祉問題の総合化を考える委員会報告）②ホームシェアハウスの推進に向けて、特に関心の低い高齢者の協力を広げる方法の研究を行っていきます。

また、活動が進みましたらご報告いたします。

## 三学校生協事業問題懇談会開催報告

12月18日、道連主催による北海道学校生協（3名）、上川地区学校生協（2名）、網走4地区学校生協（3名）の理事長・常勤役員と麻田会長・山口専務で学校生協事業問題懇談会を開催しました。麻田会長の挨拶のあと、山口専務から過去5年間の経営数値の分析報告（子会社含む）と問題提起を行いました。三学校生協は、少子高齢化による生徒の減少、学校統合による組合員（教職員）の減少が続く、厳しい経営環境の中で、供給高が年々減少していますが、経費削減の努力によって黒字決算を続けています。三生協からは、2015年度の

事業進捗状況と三ヵ年中期計画の報告をいただきました。2015年度の三生協の経常剰余は、三生協とも予算達成で進行しています。意見交換の後に確認したことは、①学校生協らしい新規事業として「子供達の学力向上」に向けてのプロジェクトを設置すること。②斡旋事業の情報を集約し、条件改善につなげること。③エネコープと連携してLPガスの斡旋事業の検討をすること。④学校は災害時の避難場所に指定されており、避難時に必要な緊急物資の状況調査を検討すること。

コープ  
さっぽろ

### TPP学習会が開催されました～参加者145名

日 程：12月18日(金)10:30～12:00

会 場：コープさっぽろ組合員活動委員会会議室(TV回線接続)

講 師：東山 寛氏（北海道大学 農業研究院講師）

テーマ：「TPPの最大の被害者は消費者である！」

TPP交渉合意に潜む数々の問題、食の安全はどうなる？

TPP交渉妥結を受けて、その実態に潜む様々な問題点について「食」を中心に講演いただきました。講演会では、消費者にとってどのような影響が予想されるのか、また、農業生産者や食の安全・安心、自給に与える影響、北海道で起き得る問題などを学習しまし

た。更に、TPPと日米の関係性や特定の食品における影響を具体的な数値で解説いただき、より理解が深まりました。

今回は北海道生協連、北海道消費者協会と共催しての学習会としたことで、周知が広がり参加者が増えました。今後も他団体の皆さまと協力し合いながら学習会の開催を計画していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いたします。

